

マルチメディア文化論

—マルチメディアとは—

2008年度 第1回

太田 信宏

1. この授業で学ぶこと

- マルチメディアの意味を理解する
- コンピュータとマルチメディアの関係を知る
- インターネットとマルチメディアの関係を知る
- 情報化社会とマルチメディアの関係を知る

- 授業中のノートはきちんと取ること
- 定期試験 → 筆記試験(持ち込みなし)
- 成績 → 出席点と定期試験を総合的に評価
- 授業概要(シラバス) → [太田のホームページ](http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/~ohtan/jugyo/)

(<http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/~ohtan/jugyo/>)

2. 「メディア」が付く言葉

media (mediumの複数形)

通信、伝達、表現のための手段、媒体、機関

- マスメディア(マスコミ) 新聞、テレビ、ラジオ、雑誌
- ニュースメディア 報道(機関)
- ハイパーメディア インターネット(の情報)
- メディアリテラシー メディア活用能力
- メディアプランニング 広告メッセージの企画など

(例) ターゲットを想定した広告 [アドワーズ広告](https://adwords.google.co.jp/select/)

<https://adwords.google.co.jp/select/>

3. いろいろな媒体と情報

表現媒体／記録媒体／伝達媒体



本、事典、新聞、雑誌、電話、FAX、カメラ(写真)

テレビ、ラジオ、CD、DVD、テープ、ビデオ(映像) …

4. 情報の種類

- ① 文字の情報 本、新聞、雑誌など
- ② 図形・絵の情報 イラスト、地図、絵など
- ③ 写真の情報 カメラ画像、写真集、百科事典など
- ④ 音の情報 電話、音楽CD、テープ、ラジオなど
- ⑤ 映像の情報 テレビ、ビデオ、DVDなど

5. 今までのメディア

従来型(既存)メディアの情報表現のしくみ

たとえば……

- 新聞 → ①(文字) + ③(写真)
- 地図 → ①(文字) + ②(図形)
- 電話 → ④(音声)
- FAX → ①(文字) + ②(図形)
- ラジオ → ④(音声)
- テレビ → ①(文字) + ④(音声) + ⑤(映像)

↓

多くは1～2種類の情報を組み合わせている

6. 従来型メディアからマルチメディアへ

①文字、②図形、③写真、④音、⑤映像

様々な情報を組み合わせ、統合的、複合的、対話的に取り扱えるようにしたもの



マルチメディア情報
(multi-media)

multi マルチ、複数の ↔ single 一つの

7. マルチメディアを実現するもの

デジタル技術
(コンピュータ)



パーソナルコンピュータ
(PC)

双方向通信
(ネットワーク)



インターネット

文字・図形・画像・音声・映像の一元化

8. 放送と通信の融合

テレビ →→→ (接近) ←←← ネット

◇ワンセグ (NHKウェブより)

- ・携帯電話で見る地上デジタル放送 (テレビ)
- ・電話代、パケット代は無料

◇無料パソコンテレビ GyaO [ギャオ]

- ・株式会社USENが運営
- ・広告収入で放映、番組は完全無料

◇動画配信サイト YouTube

8. 放送と通信の融合 (つづき)

「テレビ」と「ネット」の融合



技術的には融合可能、法制度上は問題あり

	制度	コンテンツの規制	著作権
放送	免許制	強い	優遇
通信	届出制	弱い	利用厳しい

→→ 意外と高い壁(両者は別の性格)